

8

27さて、イエスは弟子たちとピリポ・カイザリヤの村々へ出かけられたが、その途中で、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は、わたしをだれと言っているか」。

28彼らは答えて言った、「バプテスマのヨハネだと、言っています。また、エリヤだと言ひ、また、預言者のひとりだと言っている者もあります」。

29そこでイエスは彼らに尋ねられた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか」。ペテロが答えて言った、「あなたこそキリストです」。

30するとイエスは、自分のことをだれにも言ってははいけな
いと、彼らを戒められた。

31それから、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、また殺され、そして三日の後によみがえるべきことを、彼らに教えはじめ、

32しかもあからさまに、この事を話された。すると、ペテロはイエスをわきへ引き寄せて、いさめはじめたので、

33イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペテロをし
かかって言われた、「サタンよ、引きさがれ。あなたは神
のことを思わないで、人のことを思っている」。

8

34それから群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

35自分の命を救おうと思う者はそれを失ひ、わたしのため、また福音のために、自分の命を失う者は、それを救うであろう。

36人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。

37また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。

38邪悪で罪深いこの時代にあつて、わたしとわたしの言葉とを恥じる者に対しては、人の子もまた、父の栄光のうち、に聖なる御使たちと共に来るときに、その者を恥じるであろう」。

9

1また、彼らに言われた、「よく聞いておくがよい。神の国が力をもって来るのを見るまでは、決して死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる」。

9

2六日の後、イエスは、ただペテロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。ところが、彼らの目の前でイエスの姿が変わり、

3その衣は真白く輝き、どんな布さらしても、それほどに白くすることはできないくらいになった。

4すると、エリヤがモーセと共に彼らに現れて、イエスと語り合っていた。

5ペテロはイエスにむかって言った、「先生、わたしたちがここに居るのは、すばらしいことです。それで、わたしたちは小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのために、一つはモーセのために、一つはエリヤのために」。

6そう言ったのは、みんなの者が非常に恐れていたので、ペテロは何を言っていたよいか、わからなかったからである。

7すると、雲がわき起って彼らをおおった。そして、その雲の中から声があった、「これはわたしの愛する子である。これに聞け」。

8彼らは急いで見まわしたが、もはやだれも見えず、ただイエスだけが、自分たちと一緒におられた。

9一同が山を下って来るとき、イエスは「人の子が死人の中からよみがえるまでは、いま見たことをだれにも話してはならない」と、彼らに命じられた。

10彼らはこの言葉を心にとめ、死人の中からよみがえるとはどういうことかと、互に論じ合った。

11そしてイエスに尋ねた、「なぜ、律法学者たちは、エリヤが先に来るはずだと言っているのですか」。

12イエスは言われた、「確かに、エリヤが先にきて、万事を元どおりに改める。しかし、人の子について、彼が多く苦しむを受け、かつ恥ずかしめられると、書いてあるのはなぜか。

13しかしあなたがたに言うておく、エリヤはすでにきたのだ。そして彼について書いてあるように、人々は自分かつてに彼をあしらった」。

9

14さて、彼らがほかの弟子たちの所にきて見ると、大ぜいの群衆が弟子たちを取り囲み、そして律法学者たちが彼らと論じ合っていた。

15群衆はみな、すぐイエスを見つけて、非常に驚き、駆け寄ってきて、あいさつをした。

16イエスが彼らに、「あなたがたは彼らと何を論じているのか」と尋ねられると、

17群衆のひとりが答えた、「先生、おしの霊につかれています。わたしのむすこを、こちらに連れて参りました」。

18霊がこのむすこにとりつきますと、どこでも彼を引き倒し、それから彼はあわを吹き、歯をくいしばり、からだをこわばらせてしまいます。それでお弟子たちに、この霊を追い出してくださいように願いましたが、できませんでした」。

19イエスは答えて言われた、「ああ、なんという不信仰な時代であろう。いつまで、わたしはあなたがたと一緒に居ようか。その子をわたしの所に連れてきなさい」。

20そこで人々は、その子をみもとに連れてきた。霊がイエスを見るや否や、その子をひきつけさせたので、子は地に倒れ、あわを吹きながらころげまわった。

21そこで、イエスが父親に「いつごろから、こんなになったのか」と尋ねられると、父親は答えた、「幼い時からです」。

22霊はたびたび、この子を火の中、水の中に投げ入れて、殺そうとしました。しかしできませんれば、わたしどもをあわれんでお助けください」。

23イエスは彼に言われた、「もしできれば、と言うのか。信ずる者には、どんな事でもできる」。

24その子の父親はすぐ叫んで言った、「信じます。不信仰なわたしを、お助けください」。

25イエスは群衆が駆け寄って来るのをごらんになって、けがれた霊をしかって言われた、「おしとつんぼの霊よ、わたしがおまえに命じる。この子から出て行け。二度と、はいつて来るな」。

26すると霊は叫び声をあげ、激しく引きつけさせて出て行った。その子は死人のようになったので、多くの人は、死んだのだと言った。

27しかし、イエスが手を取って起きると、その子は立ち上がった。

28家にはいられたとき、弟子たちはひそかにお尋ねした。「わたしたちは、どうして霊を追い出せなかったのですか」。

29すると、イエスは言われた、「このたぐいは、祈りによらなければ、どうしても追い出すことはできない」。

30それから彼らはそこを立ち去り、ガリラヤをとどめて行ったが、イエスは人に気づかれるのを好まれなかった。
 31それは、イエスが弟子たちに教えて、「人の子は人々の手にわたされ、彼らに殺され、殺されてから三日の後によみがえるであろう」と言っておられたからである。
 32しかし、彼らはイエスの言われたことを悟らず、また尋ねるのを恐れていた。
 33それから彼らはカペナウムにきた。そして家におられるとき、イエスは弟子たちに尋ねられた、「あなたがたは途中で何を論じていたのか」。
 34彼らは黙っていた。それは途中で、だれが一ばん偉いかと、互に論じていたからである。

35そこで、イエスはすわって十二弟子を呼び、そして言われた、「だれでも一ばん先になろうと思うならば、一ばんあとになり、みんなに仕える者とならねばならない」。
 36そして、ひとりの幼な子をとりあげて、彼らのまん中に立たせ、それを抱いて言われた。
 37「だれでも、このような幼な子のひとりを、わたしの名のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。そして、わたしを受けいれる者は、わたしを受けいれるのではなく、わたしをおつかわしになったかたを受けいれるのである」。
 38ヨハネがイエスに言った、「先生、わたしたちについてこない者が、あなたの名を使って悪霊を追い出しているのを見ましたが、その人はわたしたちについてこなかったのです、やめさせました」。
 39イエスは言われた、「やめさせないがよい。だれでもわたしの名で力あるわざを行いながら、すぐそのあとで、わたしをそしめることはできない」。
 40わたしたちに反対しない者は、わたしたちの味方である。
 41だれでも、キリストについている者だというので、あなたがたに水一杯でも飲ませてくれるものは、よく言っておくが、決してその報いからもれることはないであろう。
 42また、わたしを信じるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海に投げ込まれた方が、はるかによい。
 43もし、あなたの片手が罪を犯させるなら、それを切り捨てなさい。両手がそろったままで地獄の消えない火の中に落ち込むよりは、かたわらになって命に入る方がよい」。
 44地獄では、うじがつきず、火も消えることがない。
 45もし、あなたの片足が罪を犯させるなら、それを切り捨てなさい。両足がそろったままで地獄に投げ入れられるよりは、片足で命に入る方がよい」。
 46地獄では、うじがつきず、火も消えることがない。
 47もし、あなたの片目が罪を犯させるなら、それを抜き出しなさい。両眼がそろったままで地獄に投げ入れられるよりは、片目になって神の国に入る方がよい。
 48地獄では、うじがつきず、火も消えることがない。
 49人はすべて火で塩づけられねばならない。
 50塩はよいものである。しかし、もしその塩の味がぬけたら、何によってその味を取りもどされようか。あなたがた自身の内に塩を持ちなさい。そして、互に和らぎなさい」。

10

1それから、イエスはそこを去って、ユダヤの地方とヨルダンの向こう側へ行かれたが、群衆がまた寄り集まったので、いつものように、また教えておられた。

2そのとき、パリサイ人たちが近づいてきて、イエスを試みようとして質問した、「夫はその妻を出しても差しつかえないでしょうか」。

3イエスは答えて言われた、「モーセはあなたがたになんと命じたか」。

4彼らは言った、「モーセは、離縁状を書いて妻を出すことを許しました」。

5そこでイエスは言われた、「モーセはあなたがたの心が、かたくななので、あなたがたのためにこの定めを書いたのである」。

6しかし、天地創造の初めから、『神は人を男と女とに造られた』。

7それゆえに、人はその父母を離れ、

8ふたりの者は一体となるべきである』。彼らはもはや、ふたりではなく一体である

9だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない』。

10家にはいつてから、弟子たちはまたこのことについて尋ねた。

11そこで、イエスは言われた、「だけれども、自分の妻を出して他の女をめとる者は、その妻に対して姦淫を行うのである」。

12また妻が、その夫と別れて他の男にとつぐならば、姦淫を行うのである』。

13イエスにさわっていたために、人々が幼な子らをもとに連れてきた。ところが、弟子たちは彼らをたしなめた。

14それを見てイエスは憤り、彼らに言われた、「幼な子らをわたしの所に来るままにしておきなさい。止めてはならない。神の国はこのような者の国である」。

15よく聞いておくがよい。だれでも幼な子のように神の国を受けいれる者でなければ、そこにはいることは決してできない』。

16そして彼らを抱き、手をその上において祝福された。

10

17イエスが道に出て行かれると、ひとりの人が走り寄り、みまえにひざまずいて尋ねた、「よき師よ、永遠の生命を受けるために、何をしたらよいでしょうか」。

18イエスは言われた、「なぜわたしをよき者と言うのか。神ひとりのほかによい者はいない」。

19いましめはあなたの知つてのとおりである。『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。欺き取るな。父と母とを敬え』。

20すると、彼は言った、「先生、それらの事はみな、小さい時から守っております」。

21イエスは彼に目をとめ、いつくしんで言われた、「あなたに足りないことが一つある。帰って、持っているものをみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになる。そして、わたしに従つてきなさい」。

22すると、彼はこの言葉を聞いて、顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである

23それから、イエスは見まわして、弟子たちに言われた、「財産のある者が神の国にはいるのは、なんとむずかしいことであろう」。

24弟子たちはこの言葉に驚き怪しんだ。イエスは更に言われた、「子たちよ、神の国にはいるのは、なんとむずかしいことであろう」。

25富んでいる者が神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」。

26すると彼らはますます驚いて、互に言った、「それでは、だれが救われることができるのだろうか」。

27イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはできないが、神にはできる。神はなんでもできるからである」。

28ペテロがイエスに言い出した、「ごらんささい、わたしたちはいっさいを捨てて、あなたに従つて参りました」。

29イエスは言われた、「よく聞いておくがよい。だれでもわたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、もしくは畑を捨てた者は、

30必ずその百倍を受ける。すなわち、今の時代では家、兄弟、姉妹、母、子および畑を迫害と共に受け、また、きたるべき世では永遠の生命を受ける」。

31しかし、多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう」。

10

³²さて、一同はエルサレムへ上る途上にあつたが、イエスが先頭に立って行かれたので、彼らは驚き怪しみ、従う者たちは恐れた。するとイエスはまた十二弟子を呼び寄せて、自分の身に起ろうとすることに語りはじめられた、

³³「見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行くが、人の子は祭司長、律法学者たちの手に引きわたされる。そして彼らは死刑を宣告した上、彼を異邦人に引きわたすであらう。

³⁴また彼をあざけり、つばきをかけ、むち打ち、ついに殺してしまふ。そして彼は三日の後によみがえるであらう」。

10

³⁵さて、ゼベダイの子のヤコブとヨハネとがイエスのもとにきて言った、「先生、わたしたちがお頼みすることはい、なんでもかなえてくださるようお願いします」。

³⁶イエスは彼らに「何をしてほしいと、願うのか」と言われた。

³⁷すると彼らは言った、「栄光をお受けになるとき、ひとりをおあなたの右に、ひとりをお左にすわるようにしてください」。

³⁸イエスは言われた、「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていない。あなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることができるか」。

³⁹彼らは「できません」と答えた。するとイエスは言われた、「あなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けるであらう。

⁴⁰しかし、わたしの右、左にすわらせることは、わたしにするのではなく、ただ備えられている人々だけに許されることである」。

⁴¹十人の者はこれを聞いて、ヤコブとヨハネとのことで憤慨し出した。

⁴²そこで、イエスは彼ら呼び寄せて言われた、「あなたがたの知っているとおりに、異邦人の支配者と見られている人々は、その民を治め、また偉い人たちは、その民の上に権力をふるっている。

⁴³しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。かえって、あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、

⁴⁴あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、すべての人の僕とならねばならない。

⁴⁵人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである」。

46それから、彼らはエリコにきた。そして、イエスが弟子たちや大ぜいの群衆と共にエリコから出かけられたとき、テマイの子、バルテマイという盲人のこじぎが、道ばたにすわっていた。

47ところが、ナザレのイエスだと聞いて、彼は「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」と叫び出した。

48多くの人々は彼をしかって黙らせようとしたが、彼はますます激しく叫びつづけた、「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」。

49イエスは立ちどまって「彼を呼べ」と命じられた。そこで、人々はその盲人を呼んで言った、「喜べ、立て、おまえを呼んでおられる」。

50そこで彼は上着を脱ぎ捨て、踊りあがってイエスのもとにきた。

51イエスは彼にむかって言われた、「わたしに何をしてほしいのか」。その盲人は言った、「先生、見えるようになることです」。

52そこでイエスは言われた、「行け、あなたの信仰があなたを救った」。すると彼は、たちまち見えるようになり、イエスに従って行った。